

ヒナコウモリ *Vespertilio sinensis* (Peters)

【選定理由】

本種は、IUCN2003 のレッドリストでは LR/nt (準絶滅危惧) に指定されている (ただし、当時の学名 *Vespertilio superans* として)。国内では北海道、本州、四国、九州にかけて分布する樹洞性あるいは家屋性のコウモリである。愛知県では、2002 年 5 月に設楽町東納庫で最初の個体が発見され (川田, 2004)、2003 年 7 月に安城市日の出町で繁殖集団の雌と幼体が (小鹿・子安, 2007)、越冬集団が設楽町東納庫 (城ヶ原ほか, 2007) と豊根村富山 (佐藤ほか, 2008) で発見されているが、安定した繁殖集団は確認されていない (子安・織田, 2009)。

【形態】

体重 14~30g、頭胴長 60.8~80.0mm、前腕長 47~54mm、尾長 35~50mm、脛骨長 17.3~19.1mm、後足長 (爪を含む) 9.8~11.2mm、耳介長 16.2~19.2mm、頭骨最大長 16.5~17.4mm。耳介は幅広く、先端が丸い、ほぼ三角形で、耳珠も短く先端がやや広く丸い。飛膜は足の外側中央か外側趾の基部付近につく。踵骨には後葉がある。歯式は I2/3,C1/1,P1/2,M3/3=32、乳歯式は dI2/3,dC1/1,dP2/2=22 で、上顎第三乳臼歯は交換しない (子安・織田, 2009 など)。

【分布の概要】

【県内の分布】

2002 年 5 月 25 日、設楽町東納庫大桑の製材所において最初の雌 1 個体が発見された (川田, 2004)。その後、愛知県では十数頭の越冬個体群 (設楽町東納庫：城ヶ原ほか, 2007)、越冬する 1 個体 (豊根村富山：佐藤ほか, 2008)、100 個体ほどの出産・哺育集団 (安城市日の出町：小鹿・子安, 2007) が記録された (子安・織田, 2009)。その後、名古屋市中区 (野呂, 2017)、豊田市岩倉町 (子安, 2018)、岡崎市石原町 (2019 年 6 月 24 日：戸田, 印刷中)、東栄町小林大平 (2014 年 5 月 7 日) で確認された。

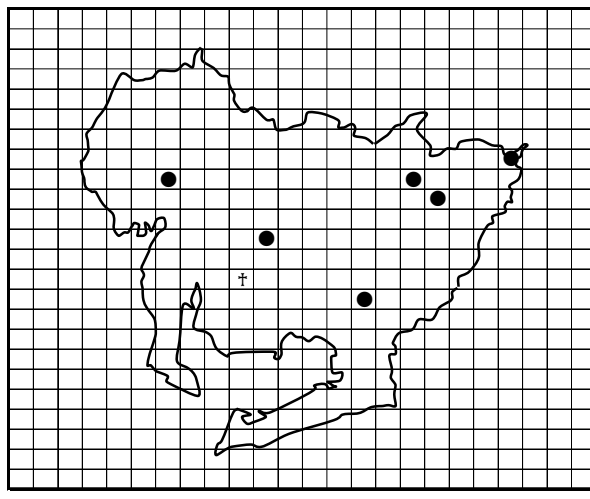
【国内の分布】

北海道、本州、四国、九州、萩諸島、大机島 (子安・織田, 2009 ; Fukui, 2015)。

【世界の分布】

日本、朝鮮半島、台湾、中国、モンゴル、シベリア沿海地方 (Fukui, 2015)。

県内分布図



【生息地の環境／生態的特性】

広葉樹林高木の樹洞、家屋、洞穴を利用する。雌は 100 頭をこえる出産・保育集団を形成し、初夏に通常 2 仔を産む。出生した雌はその年の秋に成熟し、満 1 歳で出産する (子安・織田, 2009 など)。

【現在の生息状況／減少の要因】

2002 年 5 月に設楽町で最初の個体が発見されて以来、出産・哺育集団を含めて 3 地点 4 回の生息確認がなされている。出産の際に雌の巨大な集団が形成されることから、本種が集団で移動することが示唆されている (浦野ほか, 2008)。安城市日の出町 (小鹿・子安, 2007) や大阪府堺市 (浦野ほか, 2008) の出産・哺育集団は哺育終了前に民家から放逐されている。

【保全上の留意点】

近年、都市部でのヒナコウモリ観察例が増えており、都市部での繁殖集団に対する住民の追い出しも増えると予想される (子安・織田, 2009)。ヒナコウモリの保全に対する意識の向上が求められる。

【特記事項】

豊田市岩倉町では 2008 年 4 月 6 日に杉山時雄氏によって撮影され (子安, 2018)、岡崎市石原町の本宮山では 2019 年 6 月 24 日に樹皮と樹幹の間で休息する個体が戸田尚希氏によって撮影された (戸田, 印刷中：口絵参照)。化石は本州西部の後期更新世から産出している (Fukui, 2015)。

【引用文献】

- Fukui, D. 2015. *Vespertilio sinensis* (Peters, 1880). The Wild Mammals of Japan, 2nd ed., pp.96-98. Shoukadoh Book Sellers, Kyoto.
- 城ヶ原貴通・森部絢嗣・織田銃一, 2007. 愛知県設楽町におけるヒナコウモリ越冬個体群. マンモ・ス特別号, (9): 23-24.
- 川田伸一郎, 2004. 愛知県で記録された特筆すべき小哺乳類 2 種. マンモ・ス特別号, (6): 3-5.
- 子安和弘, 2018. 人家から奥山まで生息する哺乳類. 新修豊田市史 別編 自然, pp.586-603. 愛知県豊田市, 豊田.
- 子安和弘・織田銃一, 2009. ヒナコウモリ. レッドデータブックあいち 2009 動物編, p.75. 愛知県環境部自然環境課, 名古屋.
- 野呂達哉, 2017. 名古屋市におけるヒナコウモリ *Vespertilio sinensis* (Peters, 1880) の初記録. なごやの生物多様性, 4: 109-112.
- 小鹿登美・子安和弘, 2007. 愛知県安城市におけるヒナコウモリの記録. マンモ・ス特別号, (9): 17-22.
- 佐藤顕義・勝田節子・山本輝正, 2008. 愛知県におけるチチブコウモリとヒナコウモリの記録. マンモ・ス特別号, (10): 25-28.
- 戸田尚希, 印刷中. ヒナコウモリを三河本宮山にて確認. 三河生物, (12).
- 浦野信孝・米道纈夫・山本浩平, 2008. 新たに発見されたヒナコウモリのコロニー. コウモリ通信, 16 (1): 19-20.

(子安和弘・織田銃一)